

# エコアクション21

## 2023年度環境経営レポート

(対象期間:2023年4月～2024年3月)



株式会社 ケント・コーポレーション

作成日:2024年9月18日

## 環境経営方針

### (基本理念)

私たち 株式会社ケント・コーポレーションは、さいたま市を中心として、プール管理・施設管理・建物清掃・工業薬品販売・環境事業等の業務を行ってきました。事業を推進するに際し、環境保全の必要性を認識し、エコアクション21環境経営システムを導入します。そして効率的な活動の展開と環境の継続的改善することを目指します。

### (行動指針)

基本理念の実現に向け、環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

1. 環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ② 水使用量の削減
  - ③ 廃棄物の排出量削減及びリサイクルの推進
  - ④ 事務用品等のグリーン購入促進
  - ⑤ 環境配慮型商品の販売促進
  - ⑥ 環境配慮企業としてのブランディングの推進
  - ⑦ 化学物質の安全性の確保
2. エコアクション21の取組により、環境の継続的な改善を図ります。
3. 環境法規制等を遵守します。
4. 地域社会における環境保全活動に積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
5. 従業員に環境経営方針を周知徹底します。
6. 環境経営レポートを公表します。

制定日 平成22年12月8日

改定日 令和2年10月9日

株式会社ケント・コーポレーション  
代表取締役 森谷行雄

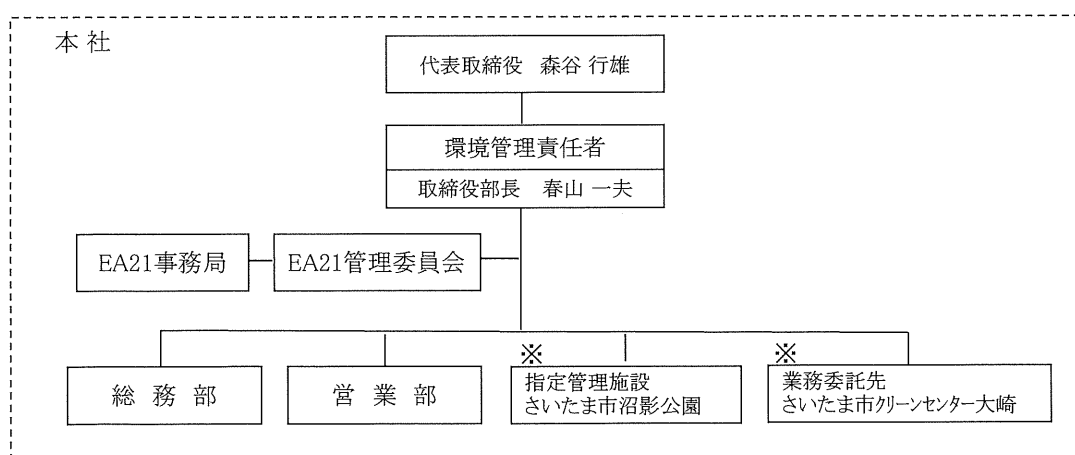
## 2.組織の概要

- (1) 名称及び代表者名 株式会社ケント・コーポレーション  
代表取締役 森谷 行雄
- (2) 所在地  
本 社 : 埼玉県さいたま市浦和区本太2丁目9番24号  
指定管理施設 さいたま市沼影公園 : 埼玉県さいたま市南区沼影2丁目7番35号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 取締役事業部長 春山 TEL:048-882-5735  
担当者 総務部係長 鹿川 TEL:048-882-5735  
総務部主任 大島 TEL:048-882-5735
- (4) 事業内容 ビルメンテナンス業及び工業薬品販売業
- (5) 事業の規模  
売上高 13.00億円(2023年度)  
従業員 29名
- (6) 事業年度 4月～3月

## 3.認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 株式会社ケント・コーポレーション  
本社事業所
- 活動: ビルメンテナンス業及び工業薬品販売業

## 4.環境活動実施体制図



- ※ 指定管理施設さいたま市沼影公園、業務委託先さいたま市クリーンセンター大崎の両施設の従事者については、エコアクション21の活動範囲に含み、その活動内容は環境経営方針に基づいた可能な範囲での活動及び教育等を実施する。両施設とも定性的な活動は実施するが、数値的な目標は定めない。(2020年9月4日 エコアクション21中央事務局に確認・了承済み)

## 5.エコアクション21活動の経過

年 月	活 動 状 況	備 考
2010年度	2010年10月 活動開始 2010年12月 環境方針制定 第一次中期環境目標設定(2010・2011・2012年) 2011年01月 2010年度環境活動スタート	
2011年度	2011年04月 活動計画設定 2011年07月 <u>登録審査受審</u> (2011年07月12日) 2011年10月 <u>エコアクション21 認証登録</u> (2011年10月20日)	書類審査・現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2012年度	2012年04月 活動計画設定 範囲拡大開始⇒沼影事業所準備開始(※1) 大崎事業所は対象外 2012年12月 <u>第1回中間審査受審</u> (2012年12月05日)	書類審査・現地審査
2013年度	2013年04月 第二次中期環境目標設定(2013・2014・2015年) 代表者の見直し実施 2013年10月 <u>第1回更新審査受審</u> (2013年10月15日) 2013年10月 <u>エコアクション21 更新登録</u> (2013年10月20日)	書類審査・現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2014年度	2014年04月 活動計画設定 2014年07月 拡大範囲⇒沼影事業所対象外決定(※2) 2014年11月 <u>CSRチャレンジ企業認証登録</u> 2014年11月 <u>第2回中間審査受審</u> (2014年11月27日)	
2015年度	2015年04月 活動計画設定 2015年10月 <u>第2回更新審査受審</u> (2015年10月14日) 2015年10月 <u>エコアクション21 更新登録</u> (2015年10月20日)	書類審査・現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2016年度	2016年04月 第三次中期環境目標設定(2016・2017・2018年) 活動計画設定 2016年10月 <u>第3回中間審査受審</u> (2016年10月18日) 2017年01月 <u>エコアクション21 組織体制改定</u>	現地審査
2017年度	2017年04月 活動計画設定 CSRチャレンジ企業再認証登録 2017年10月 <u>第3回更新審査受審</u> (2017年10月12日) 2017年10月 <u>エコアクション21 更新登録</u> (2017年10月20日) 2017年11月 拡大範囲⇒沼影事業所の従業員は対象範囲(※3)	現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2018年度	2018年04月 活動計画設定 CSRチャレンジ企業再認証登録 2018年10月 <u>第4回中間審査受審</u> (2018年10月15日)	現地審査
2019年度	2019年04月 活動計画設定 2019年10月 <u>第4回更新審査受審</u> (2019年10月16日) 2019年10月 <u>エコアクション21 更新登録</u> (2019年10月20日)	現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2020年度	2020年04月 活動計画設定 CSRチャレンジ企業再認証登録 2020年10月 <u>第5回中間審査受審</u> (2020年10月9日)	現地審査
2021年度	2021年04月 活動計画設定 2021年07月 さいたま市3Rパートナーシップ宣言 2021年09月 埼玉県多様な働き方実践企業登録 2021年09月 埼玉県シニア活躍推進宣言企業登録 2021年10月 <u>第5回更新審査受審予定</u> (2021年10月6日) 2021年10月 <u>エコアクション21 更新登録</u> (2021年10月20日) 2021年12月 埼玉県環境SDGs取組宣言企業登録 2022年03月 さいたま市SDGs認証企業登録	現地審査 <u>登録番号(0007603)</u>
2022年度	2022年04月 活動計画設定 2022年10月 <u>第6回中間審査受審予定</u> (2022年10月)	現地審査
2023年度	2023年04月 活動計画設定 2023年10月 <u>第6回更新審査受審予定</u> (2023年10月)	現地審査
2024年度	2024年04月 活動計画設定 2024年10月 <u>第7回中間審査受審予定</u> (2024年10月)	現地審査

6.第五次中期環境目標（中期計画期間：2022年度～2024年度）

項目	単位	基準年度	環境目標		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量削減	増減率	—	-0.5%	-1%	-1.5%
	kg-CO <sub>2</sub>	7,887	7,848	7,808	7,769
(1)電力使用量	増減率	—	維持	維持	維持
	kWh	6,958	6,958	6,958	6,958
(2)エネルギー消費量(ガソリン)	増減率	—	-0.5%	-1.0%	-1.5%
	ℓ	2,014	2,004	1,994	1,984
	売上(百万円)	10.82	-0.5%	-1.0%	-1.5%
	原単位(ℓ/百万円)	2.88	2.87	2.85	2.84
廃棄物排出量の削減（一般廃棄物）	増減率	—	維持	維持	維持
	kg	154	154	154	154
	人数(人)	—	維持	維持	維持
	原単位(kg/人)	19.23	19.23	19.23	19.23
廃棄物排出量の記録（産業廃棄物）		* 産業廃棄物排出時には削減に努める			
水使用量の節水		* 節水に努める			
		測定不可	(数値目標は定めずに節水の実施)		
グリーン購入の推進 (対象物品の積極的購入)	増加率	—	維持	維持	維持
	購入率	90.6%	90.6%	90.6%	90.6%
環境に配慮した製品(サービス)の提供 ならびに検討					
	取組数	2	2以上	2以上	2以上
環境配慮企業としてのブランディングの 推進会議					
	会議数(回/年)	11	8	8	8

※二酸化炭素排出係数は、2017(平成29)年度の東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数の0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。  
第四次中期環境目標を策定するにあたり、基準年度の二酸化炭素排出係数を2014年度東京電力の実排出係数0.505kg-CO<sub>2</sub>/kWhから2017年度東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhに変更した。

※化学物質について、工業薬品の販売はしているが、保管及び使用はしていない。

## 7.今年度(2023年度)の目標と実績とその評価

項目	基準年度	今年度				
	2021年度	目標値	実績	達成率	評価	コメント
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 7,887	-1.0% 7,809	+4.7% 8,255	94.6%	×	電気使用量とガソリン使用量に準ずる。
(1)電力使用量	kWh 6,958	維持項目 6,958	+15.4% 8,030	86.7%	×	時間外勤務による事務所稼働時間増加の為目標達成出来なかった。
(2)エネルギー消費量(ガソリン)	ℓ 2,014	-1.0% 1,994	-2.7% 1,959	101.8%	○	ガソリン車からハイブリッド車に変更した効果が出たため。
廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)	売上原単位 (ℓ/百万円) 2.88	-1.0% 2.85	-47.6% 1.51	189%	○	取組の浸透によりマインドの定着による。
	kg 154	維持項目 154	-12.2% 135	114%	○	
廃棄物排出量の記録(産業廃棄物)	人数原単位 kg/人 19.23	維持項目 19.23	-19.6% 15.45	124%	○	取組の浸透によりマインドの定着による。
	kg 8,340				○	
水使用量の削減		節水に努めた			○	取組の浸透によりマインドの定着による。
グリーン購入の推進 (対象物品の積極的購入)	% 90.6%	維持項目 90.6%	+1.8% 92.4%		○	購買の一元化が功を奏している。
環境に配慮した製品(サービス)の提供ならびに検討	—	2	2	100%	○	継続的な販売の推進による。
環境配慮企業としてのブランディングの推進会議	回/年 11	8	12		○	予定通り実施出来た。

\*11項目中9項目の達成

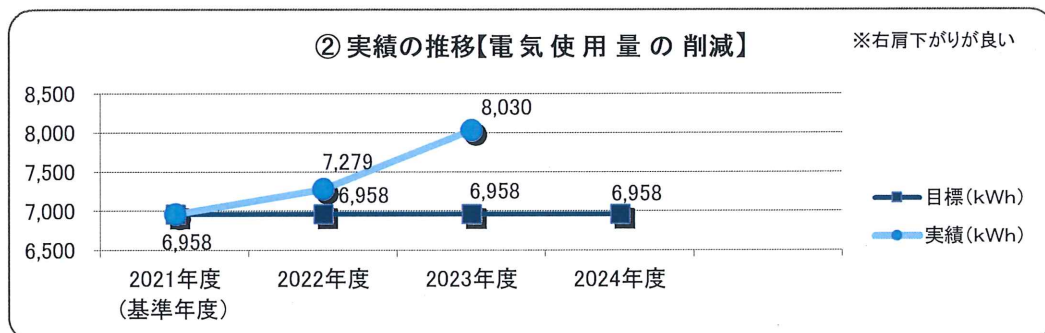
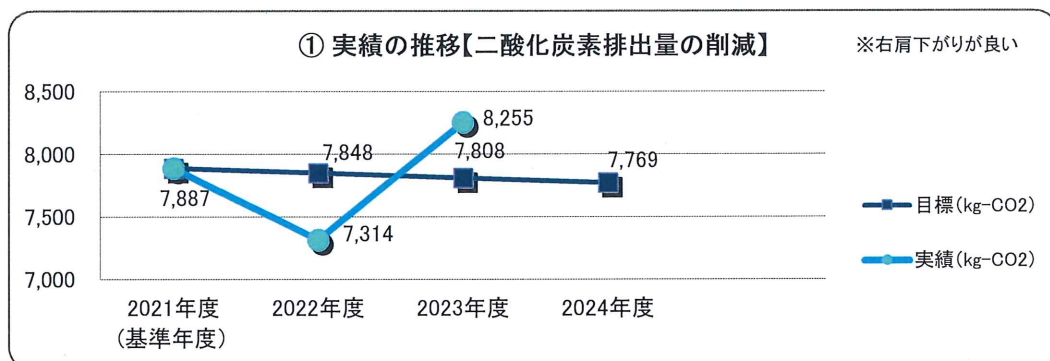
\*産業廃棄物は、脱臭剤の交換による汚泥がほとんどであり、主体的なコントロールが難しいため目標を定めない。

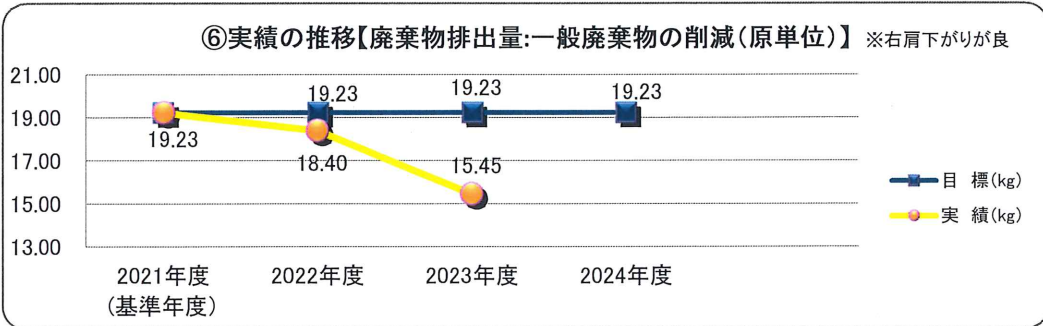
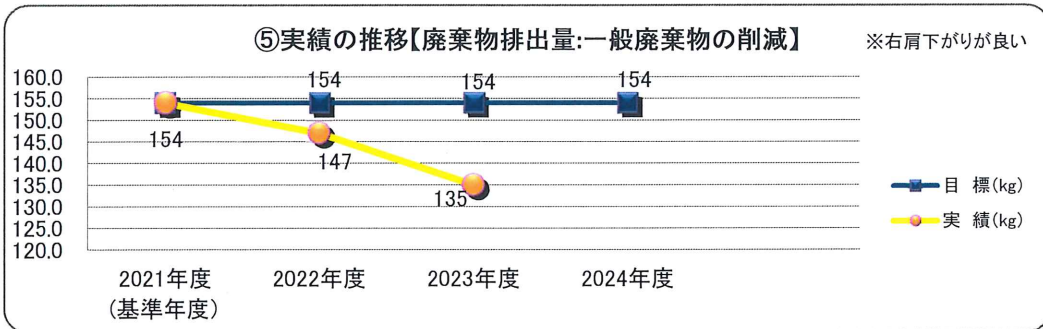
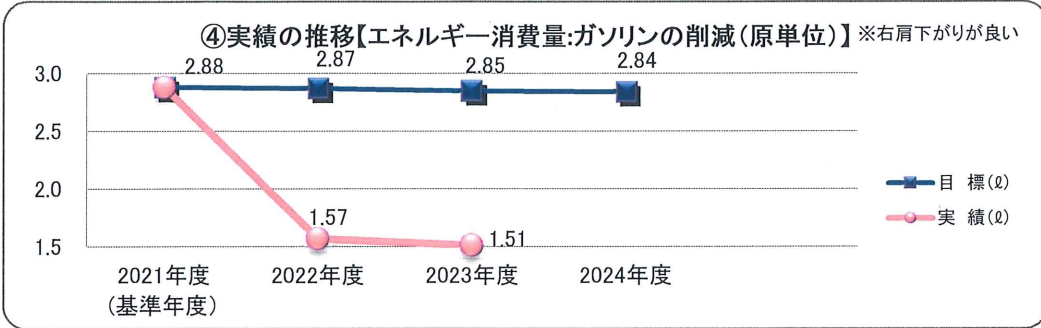
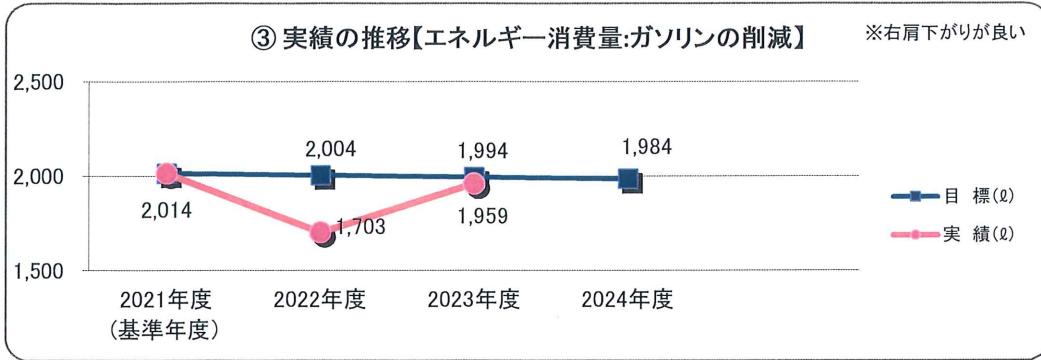
## 8.実績の推移(中期用)

項目		2021年度 (基準年度)	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素排出量	目標(kg-CO <sub>2</sub> )	7,887	7,848	7,808	7,769	
	実績(kg-CO <sub>2</sub> )	7,887	7,314	8,255		
電力使用量	目標(kWh)	6,958	6,958	6,958	6,958	
	実績(kWh)	6,958	7,279	8,030		
エネルギー消費量 (ガソリン)	目標(ℓ)	2,014	2,004	1,994	1,984	
	実績(ℓ)	2,014	1,703	1,959		
原単位 (ℓ/百万円)	目標(ℓ)	2.88	2.87	2.85	2.84	
	実績(ℓ)	2.88	1.57	1.51		
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	目標(kg)	154	154	154	154	
	実績(kg)	154	147	135		
原単位 (kg/人)	目標(kg)	19.23	19.23	19.23	19.23	
	実績(kg)	19.23	18.40	15.45		

※二酸化炭素排出係数は、2017(平成29)年度の東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数の0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

※化学物質について、工業薬品の販売はしているが、保管及び使用はしていない。

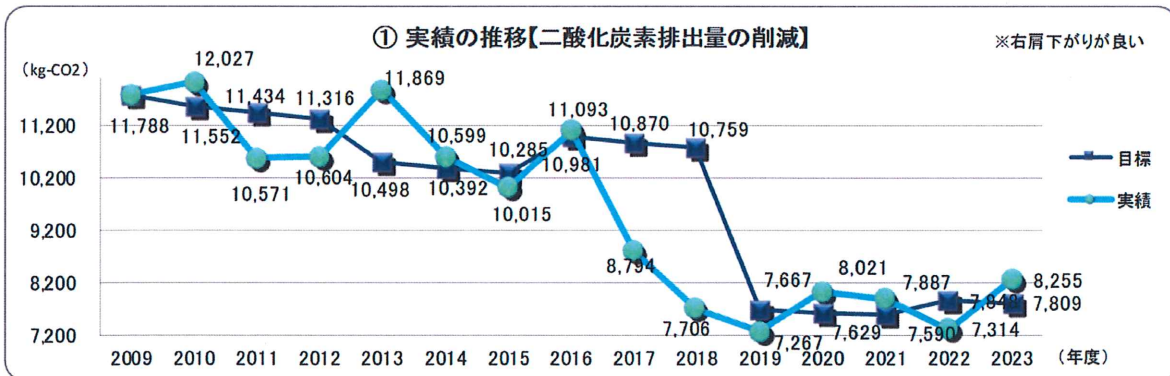


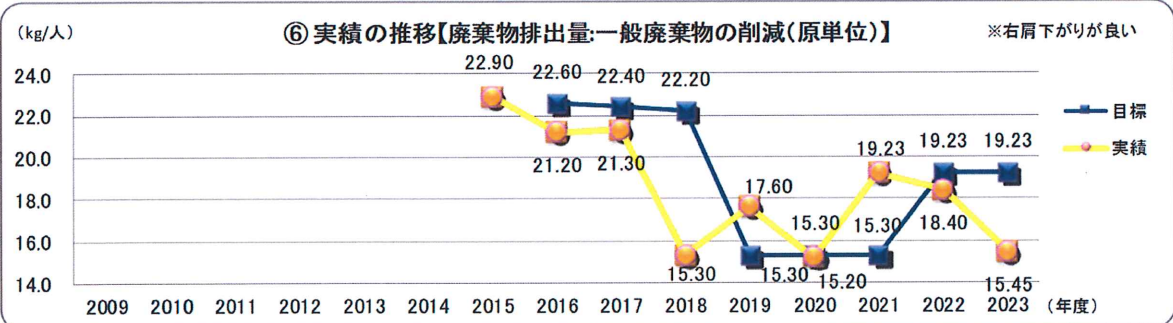
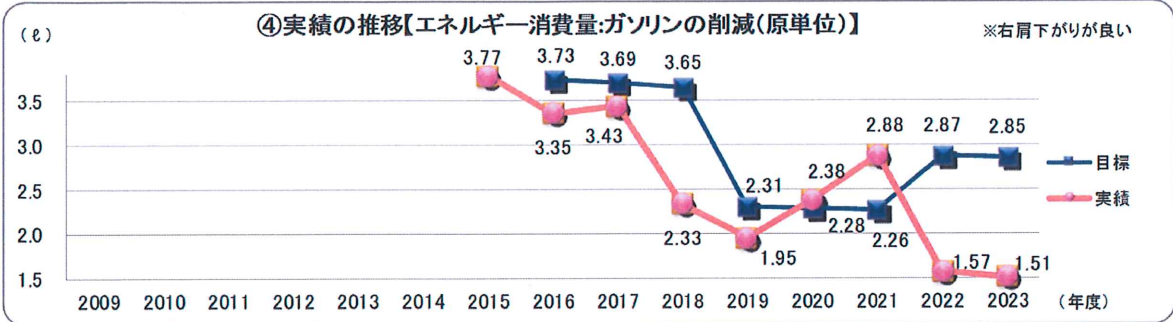
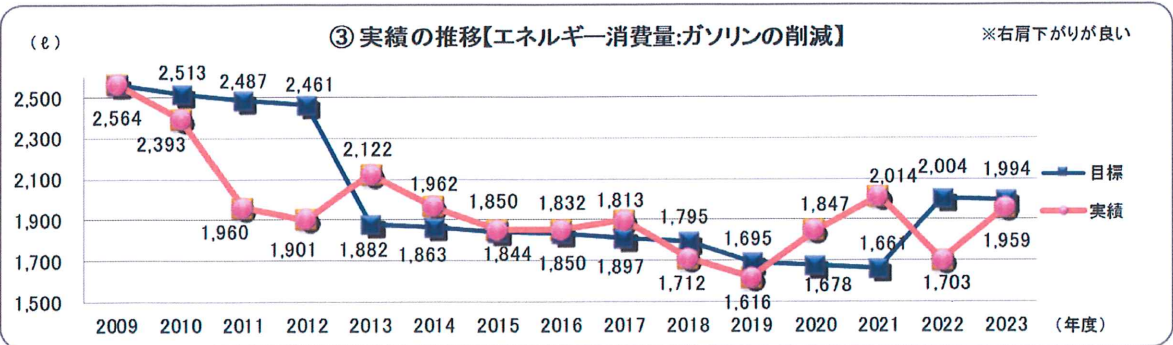


### 9.活動開始から15年間の推移(2009年度～2023年度)

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	目標	11,788	11,552	11,434	11,316	10,498	10,392	10,285	10,981	10,870	10,759	7,667	7,629	7,590	7,848	7,809
	実績	11,788	12,027	10,571	10,604	11,869	10,599	10,015	11,093	8,794	7,706	7,267	8,021	7,887	7,314	8,255
電力使用量 (kWh)	目標	13,729	13,454	13,317	13,180	14,419	14,274	14,128	13,324	13,190	13,055	8,077	8,077	8,077	6,958	6,958
	実績	13,729	15,227	14,165	14,565	16,335	14,220	13,459	13,462	8,692	8,077	7,608	8,089	6,958	7,279	8,030
エネルギー消費量 (ガソリン) (ℓ)	目標	2,564	2,513	2,487	2,461	1,882	1,863	1,844	1,832	1,813	1,795	1,695	1,678	1,661	2,004	1,994
	実績	2,564	2,393	1,960	1,901	2,122	1,962	1,850	1,850	1,897	1,712	1,616	1,847	2,014	1,703	1,959
原単位 (ℓ/百万円)	目標							3.73	3.69	3.65	2.31	2.28	2.26	2.87	2.85	
	実績						3.77	3.35	3.43	2.33	1.95	2.38	2.88	1.57	1.51	
廃棄物排出量 (一般廃棄物) (kg)	目標			205	203	203	199	197	181	179	178	213	123	123	154	154
	実績			205	203	236	222	183	165	165	123	141	122	154	147	135
原単位 (kg/人)	目標							22.60	22.40	22.20	15.30	15.30	15.30	19.23	19.23	
	実績						22.90	21.20	21.30	15.30	17.60	15.20	19.23	18.40	15.45	

※二酸化炭素排出係数は、2015年度まで2007(平成19)年度の東京電力の実排出係数の0.425kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。  
 ※二酸化炭素排出係数は、2016年度より2014(平成26)年度の東京電力の実排出係数の0.505kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。  
 ※二酸化炭素排出係数は、2018年度より2017(平成29)年度の東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数の0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。  
 ※化学物質について、工業薬品の販売はしているが、保管及び使用はしていない。





## 10.環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営計画

















(1) 本 社 の 取 組 み

○できた △あまりできなかった ×全くできなかった できなかった

取組み計画	SDGs	担当責任部門	達成状況	評 価(結果と今後の方向)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>				
・空調機の室内温度管理(夏季:26℃、冬季:23℃)	   	総務部	○	こまめな消灯の心掛けや温度管理、空調フィルターの定期的な清掃など、意識づけはされている。
・空調機の管理(未使用室の停止)		総務部	○	
・空調フィルターの定期的な清掃(半年に1回)		営業部	○	
・照明の管理(未使用時の消灯:4箇所)		総務部	○	
・事務用機器の未使用時の電源切り		営業部	○	
・省エネ効果の高い機器への切替え(買換え時)		環境管理責任者	○	
・屋外の光の活用		総務部	○	
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>				
・エコドライブの推進	   	営業部	○	ドライブレコーダによる一層の安全運転・エコドライブへの意識や、ガソリン給油時の燃費表の記録など、全ドライバーが良く活動出来ている。
・移動の際、公共機関を活用する		営業部	○	
・低公害車輛への切替え(買い換え時)		営業部	○	
・目的別に車を使い分ける		営業部	○	
・エコドライブの見える化の為の数値管理		営業部	○	
<b>一般廃棄物の削減(コピー用紙)</b>				
・両面、集約印刷の推進	  	総務部	○	コピー用紙の削減として、複合機の用紙セットの一つを裏紙にし、社内文書等を裏紙に印刷したり、控え書類のPDF化をすすめた。その結果2023年度は合わせて1,218枚の削減実績となった。次年度も継続して削減に努める。
・裏面の有効活用		総務部	○	
・必要な分のみコピーする		総務部	○	
・PDF化の推進		総務部	○	
<b>一般廃棄物の削減(排出ごみ)</b>				
・分別、リサイクルにより総排出量を抑制する(マイ箸の実施、再利用など)	 	総務部	○	毎週のごみの計量については良く活動できている。活動が徹底出来ており、これからの大幅な削減は難しいと判断されるが、今後も活動を維持する。
・新聞は地域自治会等の回収に協力する。		総務部	○	
・排出ごみを計量し記録する		総務部	○	
<b>産業廃棄物の削減</b>				
・排出量の記録	 	営業部	○	受注増により排出量は増加したが、再生利用可能なものは最大限再生し、有効利用に努める。
<b>節水</b>				
・節水啓蒙(節水シールの貼付)	 	総務部	○	節水の意識を浸透させ、日常的によく活動できている。今後とも引き続き啓蒙を強化して行く。
<b>グリーン購入</b>				
・定常購入品のリストアップ	 	総務部	○	積極的に良く活動できている。活動が徹底されており、今後の大幅な数値改善は難しいと判断されるが、引き続き取り組んでいく。
・リサイクル製品、グリーンマーク商品の積極購入		総務部	○	
<b>環境に配慮した製品(サービス)の提供</b>				
・環境に配慮した製品の販売	 	環境管理責任者	○	今後も環境に配慮した製品の販売金額を増やしていく。
・環境に配慮したサービス		環境管理責任者	○	
<b>地域社会貢献活動への参加</b>				
・地域社会貢献活動への参加、寄付	  	総務部	○	百年の森活動への寄付をした。さいたま市SDGs認証企業として、活動を積極的に、登録手続きを済ませた。ペットボトルのキャップと古切手回収運動も積極的に取り組み、古切手は現在まで約14,000枚を送付している。
・さいたま市CSR活動の展開		営業部	○	
・ペットボトルキャップのリサイクル運動		総務部	○	
・古切手回収運動		総務部	○	

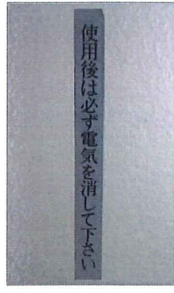
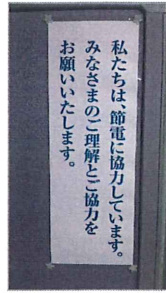
## (2) 施設従事者 の取り組み

○できた △あまりできなかった ×全くできなかった :できなかった

取り組み計画	SDGs	担当責任部門	達成状況	評価(結果と今後の方向)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>				
・空調機の室内温度管理(夏季:26℃、冬季:23℃)	 	沼影、大崎	○	休憩室は使用するときだけの照明の点灯など、徹底して良く活動出来ている。
・照明の管理(未使用時の消灯)	 	沼影、大崎	○	
<b>節水</b>				
・節水啓蒙	 	沼影	○	節水の意識を浸透させ、日常的によく活動できている。今後とも引き続き啓蒙を強化して行く。
	 			
<b>環境に配慮した製品(サービス)の提供</b>				
・環境に配慮した薬品・洗剤の選択	 	大崎	○	中性域の洗剤を選択し使用している。
<b>地域社会貢献活動への参加</b>				
・古切手回収箱の設置	 	沼影、大崎	○	沼影公園では、施設の入口に古切手回収箱を設置し、施設利用者の方からも多くの古切手が集められている。
・施設周辺の防災マップの掲示	 	沼影	○	
・災害伝言ダイヤルカードの配布	 	沼影	○	

※(1)(2)ともに次年度も同様に取組む

●各種掲示物により、節電・節水をより徹底



●節水効果30%のパイプに交換



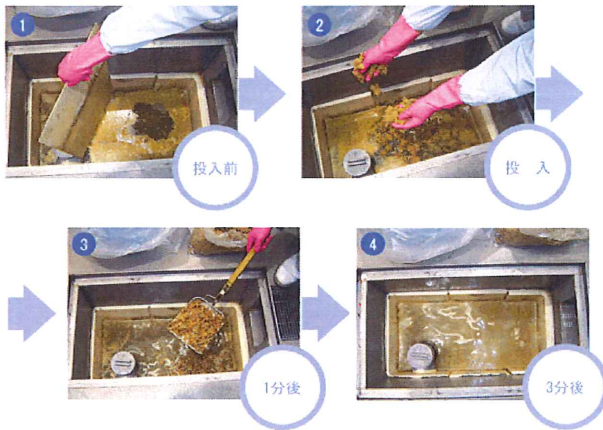
●未使用時の消灯や、照明のLED化



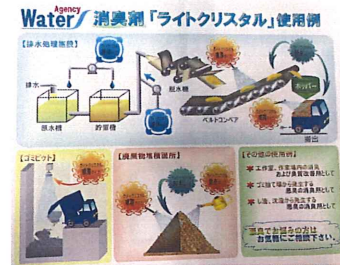
●環境に配慮した製品の販売

◆油吸着材

グリストラップ(油水分離槽)に使用した例



◆消臭剤



河川等での油流出に使用した例



●ペットボトルキャップ回収箱の設置



●災害用伝言ダイヤルカード



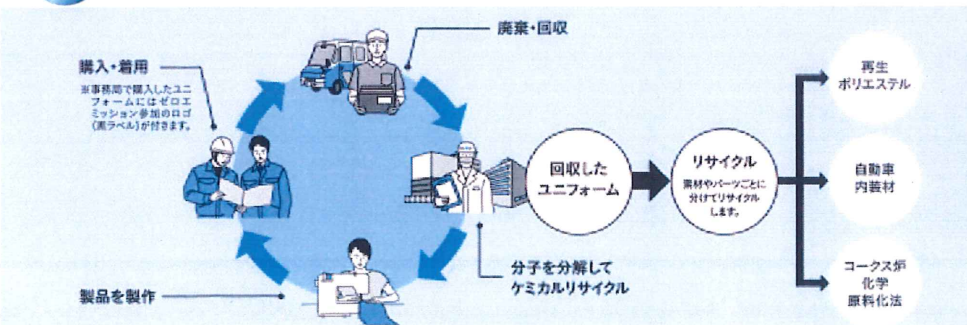
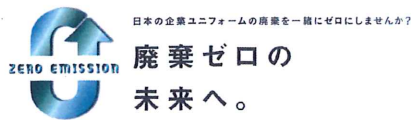
●古切手回収運動



●防災マップ(沼影公園周辺の避難所)の掲示



●リサイクル型作業着の導入



## (2) 施設従事者の活動状況

### 1. 指定管理施設さいたま市沼影公園の従事者

さいたま市沼影公園については、指定管理者としてさいたま市からの指定を受けて業務を受託している。そのため事業所登記はしておらず、顧客の所有する施設であるため、事業所とは呼称せず2019年度環境経営レポートより、指定管理施設さいたま市沼影公園と表記することにした。施設に勤務する従事者については、エコアクション21の活動範囲に含み、可能な範囲での活動及び教育を実施した。ただし、指定管理施設さいたま市沼影公園としての数値目標は設定せず定性的な活動のみを実施した。

#### 2023年度

- ①施設閉鎖に対して柔軟に対応し、電力量、水道量削減に取り組んだ。
- ②SDGs活動を展開した
  - ・施設内入口に古切手回収箱の設置
  - ・沼影公園周辺の防災マップの掲示
  - ・災害伝言ダイヤルカードの配布

### 2. 業務委託先さいたま市クリーンセンター大崎の従事者

業務委託先さいたま市クリーンセンター大崎においても、指定管理施設さいたま市沼影公園と同様に2019年度環境経営レポートより、事業所ではなく、業務委託先さいたま市クリーンセンター大崎と表記することにした。施設に勤務する従事者については、エコアクション21の活動範囲に含み、可能な範囲での活動及び教育を実施した。ただし、業務委託先さいたま市クリーンセンター大崎としての数値目標は設定せず定性的な活動のみを実施した。加えて、さいたま市環境マネジメントシステムに基づいた環境活動も同時に実施した。

#### 2023年度

- ①廃棄物の削減(分別の徹底、リサイクル)
- ②節電(冷房26℃以上、暖房23℃以下に設定、不要箇所の消灯)
- ③環境に配慮した薬品・洗剤の選択(廃棄ルールの遵守)
- ④SDGs活動の展開
  - ・古切手回収箱の設置(従事者用)
  - ・リサイクル型作業着への切り替え

## 11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)	遵守項目	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 産業廃棄物	分別マニュアル マニフェスト伝票管理 契約書あり 産業廃棄物保管場所表示	○
家電リサイクル法	TV、エアコン、冷蔵庫	リサイクル券保管	○
自動車リサイクル法	乗用車3台	リサイクル券保管	○
グリーン購入法	事務用品	GPN商品の購入	○
道路運送車両法	乗用車3台	点検及び整備、記録保管	○
さいたま市条例	エコドライブ並びにアイドリングストップ	エコドライブ並びにアイドリングストップの実施	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## 12.代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21を導入し、15年目となる2023年4月～2023年4月についての環境活動に取り組んできた結果は、次のとおりと報告を受けている。

### 1.電力削減・燃料削減・CO<sub>2</sub>削減

電力削減については、上期は猛暑であった事や通期的には事業拡大に伴う事務所の時間外、休日稼働によるものと考えているが、結果として目標値を上回る結果となった。燃料削減に関しては各自が削減に取り組んだ結果、通期では目標を達成することが出来た。CO<sub>2</sub>削減に関しては、電力未達が影響し未達成であった。活動を始めて15年目となり、マインドは十分に定着してきている。売上ベースの原単位併記により具体的な分析・評価が出来ている。今後も基本事項の励行とともに、削減に繋がる行為をより一層意識して取り組んでいく。

### 2.廃棄物削減・水使用量削減

コピー用紙使用枚数の削減の取組みとして裏紙利用やPDFでの保存化を推進した結果、目標値を上回る結果となった。様々な取組みによりマインドが形成されて浸透している。これからの大幅削減は難しいと判断されるが、分別リサイクルをさらに強化しゴミ減量化に対する意識を高める。

### 3.グリーン購入

目標に対して、達成できた。購入品の調達を検討する際の重要な要素として位置づけられており、活動も浸透しているために、90%以上という高い水準を維持している。今後の大幅な数値改善は難しいと判断されるが、引き続き活動を強化していく。

### 4.製品・サービスの提供

目標に対して、達成できている。環境施設(下水道施設・ごみ処理施設・浄水場)への営業を増やしていくとともに、新たな製品・サービスの開拓に努めることとする。

### 5.環境配慮企業としてのブランディングの推進

毎月、社内定例会議を実施しSDGsと関連付けながら進行している。例として、リサイクル型作業着の導入をした。(No.12 作る責任使う責任)

### まとめ

全体の評価として、よく活動できたと認識している。社内戦略から未達成項目があるが、その内容を全員が共有して、会社として必要な事業活動を滞らせることなく常に環境に意識を向けた行動を心掛けること。さいたま市CSR認証企業から、さいたま市SDGs認証企業に移行した我々は、このSDGs活動の中の一つとしてエコアクション21の活動を位置づけ、積極的に展開し続ける。